



2020年8月

- [Cisco Spaces の概要](#) (1 ページ)
- [新機能 : 2020年8月](#) (3 ページ)
- [機能強化 : 2020年8月](#) (4 ページ)
- [Cisco Spaces ランタイム](#) (6 ページ)
- [不具合](#) (6 ページ)

Cisco Spaces の概要

Cisco Spaces は、既存のワイヤレスやIoT (BLE) インフラストラクチャを活用して、実用的な情報を提供し、Space に組み込まれたアプリケーションでビジネスの成果を推進する強力なロケーション サービス プラットフォームです。

Cisco Spaces からの情報には次が含まれます。

- **Location Analytics** は、時間や位置によるロケーションデータの多角的な分析を行い、ネットワークに接続しているユーザーの行動をより詳細に可視化する機能を提供します。
- **Right Now** レポートは、物理的スペース内のリアルタイムの訪問者数 (Wi-Fi に接続されているデバイスで識別) 、およびこの数を履歴平均と比較する方法を提供します。Right Now レポートでは、使用されている認証方法に基づいて、1人のユーザーに属する複数のデバイスを検出し、それらのデバイスを1人の訪問者としてカウントできます。
- **Business Insights** は、人々がお客様の物理拠点に訪れる頻度と、お客様の事業所に滞在する時間を測定する機能を提供します。このデータは、すべてのロケーションにわたり、月単位で比較評価されます。また、ロケーションのパフォーマンスを経時的、グループ別、または業界別に比較評価する機能も用意されています。
- **Impact Analysis** は、現地イベント、キャンペーン、およびレイアウトの変更が行動に及ぼす影響を測定する機能を提供します。ツールを使用してイベントを作成し、費やした時間と頻度への影響の前、後、および最中などの特定のタイムラインに基づいて、このイベントの影響を測定するのは簡単です。

Cisco Spaces アプリケーションには、キャプティブポータル、ロケーションペルソナ、エンゲージメントなどのカスタマーエクスペリエンス管理アプリが含まれており、物理的な場所にいる

顧客とリアルタイムでつながることができます。追加のアプリケーションには、アセットトラッキングアプリ、IoT サービス（Bluetooth Low Energy（BLE））を管理および設定するためのサービスマネージャ、およびこのデータを抽出して関連付けるか、他のエンタープライズシステムに統合する場合のオープン API フレームワークも含まれます。

Cisco Spaces は、さまざまなロケーションベースのテクノロジーやインテリジェンスを通じて各種のサービスを利用できる単一のダッシュボードインターフェイスを備えています。Cisco Spaces では、お客様の物理的なビジネスロケーションへの訪問者につながり、関係を深めることもできます。ワークスペース、小売、製造、サービス業、医療、教育、金融など、さまざまな業種のビジネスを対象としています。Cisco Spaces のアセットトラッキングアプリケーションは、お客様施設内の資産を監視および管理するためのソリューションを提供します。Cisco Spaces には、これらの知見をアクションに変えるためのさまざまなツールキット、アプリ、および API が用意されています。

Cisco Spaces では、パートナープログラムを通じて、さまざまな業種にわたるさまざまなパートナーアプリケーションにアクセスできます。

Cisco Spaces は、Cisco Catalyst、Cisco AireOS、および Cisco Meraki インフラストラクチャと互換性があります。

上記のサービスに加えて、Cisco Spaces アプリの範囲は、世界的なパンデミックである COVID-19 によって生じるビジネス要件を満たすために拡張されました。拡張機能は既存のアプリケーションに基づいて構築されており、COVID-19 の特定の要件を満たすために新しいアプリケーションが追加されています。Impact Analytics、Location Analytics、Behaviour Metrics、Right Now などのアプリの拡張機能を使用すると、ビジネス拠点に及ぼす COVID-19 の影響を分析し、適切なアクションを実行できます。たとえば、現在の場所のデバイス密度に基づいてルールを作成し、その場所にいる人の数が特定の数または密度（人/エリア）を超えた場合に自動的に通知されるようにすることができます。Location Analytics アプリには、エグゼクティブサマリーレポートを組織内の同僚と共有する機能が追加されました。さらに、個人/グループの場所を対象とした COVID-19 ベースの傾向分析を行動メトリクスアプリを使用して実行できるようになり、特定のビジネス拠点を組織全体および特定の業種のビジネス拠点と比較できます。

Cisco Spaces では、影響を受けるデバイスのロケーション履歴とデバイス近接履歴をすばやく確認できる新しい Proximity Reporting アプリが追加されました。ユーザー ID または MAC アドレスを入力するだけで、過去 14 日間の建物内のデバイスの位置と、他のデバイスの近接性に関するレポートが生成されます。このレポートは、共有機能を使用してエクスポートまたは共有できます。同様に、検出と位置特定アプリには、デバイスを特定の数にクラスタ化して、ソーシャルディスタンスのガイドラインに違反している可能性のある領域を確認して報告する機能が追加されました。

このリリースの主な機能は次のとおりです。

- Cisco Spaces ユーザーのプロファイルの詳細を追加および表示できるようにプロビジョニング。
- Cisco Spaces に新しいライセンスタイプ [Extend] を追加。
- 新しいオプション、Cisco Spaces : シスコのワイヤレス インフラストラクチャを使用して IoT デバイスを要求、管理、および監視できるようにする IoT サービス。

- [SMS with Link Verification] 認証のオプトインサポート。
- ロケーション名にカーソルを合わせると [More Actions] メニューが表示されるようにロケーション階層を拡張。
- アクセスポイントのコントローラ IP アドレスを表示するようにプロビジョニング。
- 非実用的なエントリを避けるために、場所に定義できる総面積の値を制限。
- [SEE] ライセンスの下で検出と位置特定アプリを表示。
- ロールを使用した Map Services および DNASpaces への独立したアクセス権の提供をサポート。
- パートナーダッシュボードの利用規約を更新。

新機能：2020年8月

Cisco Spaces ダッシュボード

Cisco Spaces ダッシュボードに、次の新機能が追加されました。

Profile Information

Cisco Spaces では、Cisco Spaces ダッシュボードユーザーの名、姓、携帯電話番号などのプロフィール情報の追加をサポートできるようになりました。

- [Account Preferences] ウィンドウの新しいタブ、[My Profile] を使用して、プロフィール情報を追加できます。このウィンドウでは、名、姓、および携帯電話番号を指定できます。携帯電話番号とその確認はオプションです。携帯電話番号を指定すると、[Verify Mobile Number] リンクが表示され、ワンタイムパスワードを使用して携帯電話番号を確認できます。携帯電話番号が確認されると、[Verified] ステータスが表示されます。携帯電話番号を変更すると、[Verify Mobile Number] リンクが再び表示されます。
- Cisco Spaces のログインワークフローが変更され、特定の Cisco Spaces ユーザーのプロフィール情報が利用できない場合に、ログインプロセスの一部として [Update Profile Information] ダイアログボックスが表示されるようになりました。このステップをスキップして、ログインに進むことができます。その後、いつでも [Account Preferences] ウィンドウからプロフィールの詳細を追加できます。ただし、時間情報が提供されるまで、[Profile Information] ダイアログボックスがログインワークフローの一部として表示されます。



(注) SSO ユーザーは、プロフィール情報を編集したり、携帯電話番号を確認したりすることはできません。また、ログイン時に SSO ユーザーに [Update Profile Information] ダイアログボックスは表示されません。

ライセンスタイプの拡張

Cisco Spaces は、新しいライセンスタイプ [Extend] を提供するようになりました。[Extend] ライセンスは、[SEE] ライセンスで利用可能なすべてのアプリと、[Get Partner Apps] > [App Center]にあるパートナーアプリをアクティブ化するためのアクセスを提供します。

Cisco Spaces : IoT サービス（無線）の概要

Cisco Spaces : IoT サービスは、Cisco Spaces 内のプラットフォームサービスであり、シスコのワイヤレス インフラストラクチャを使用して IoT デバイスを要求、管理、および監視できます。IoT サービスは、さまざまなベンダー、フォームファクター、テクノロジープロトコルにわたって IoT デバイスを管理できるように設計されています。Bluetooth Low Energy (BLE) は、IoT サービスを使用して管理できる最初のテクノロジーです。

IoT サービスは、重要なビジネス成果をサポートするデバイスの管理を可能にするハードウェア、ソフトウェア、およびパートナーコンポーネントを網羅しています。IoT サービスは、Cisco Catalyst 9800 シリーズ ワイヤレス コントローラ、Cisco Spaces : コネクタ、Cisco Wi-Fi6 アクセスポイント、および Cisco Spaces を利用します。IoT サービスは、企業のモノのインターネット (IoT) 環境における複雑さを管理するための次世代のアプローチです。

IoT サービス を使用して、次の管理アクティビティを実行できます。

- ネットワーク内のサポートされている AP に BLE ゲートウェイを展開します。
- Cisco Spaces : IoT デバイスマーケットプレイスから取得した BLE ビーコンを要求します。
- AP を設定し、フロアビーコンを管理します。
- ロケーション、テレメトリ、バッテリー残量、移動ステータスなどのデバイス属性を監視できます。

機能強化 : 2020 年 8 月

Cisco Spaces ダッシュボード

Cisco Spaces ダッシュボードに次の変更が加えられました。

[SMS with Link Verification] 認証のオプトインサポート。

キャプティブポータルアプリは、認証タイプの [Opt In] オプション ([SMS with Link Verification]) をサポートするようになりました。[Portal] ウィンドウで、[Authentication Type] として [SMS with Link Verification] を選択すると、[Allow users to Opt in to receive message] チェックボックスが表示されます。

ロケーション階層

ロケーション階層の各ロケーションで実行できるアクションを通知するために、ロケーション名にカーソルを合わせると、[More Actions] メニューが数秒間表示されるようになりました。その後、前述のように3つのドット（省略記号）アイコンをクリックすることで、いつでも [More Actions] メニューにアクセスできます。

コントローラ IP アドレス

Cisco Spaces が [Cisco Spaces Connector] または [WLC Direct Connect] を介して接続されている場合、[Location Hierarchy] で、コントローラの IP アドレスがロケーションの [Access Points] タブに表示されるようになりました。[Access Points] タブで、新しい列 [Controller IP Address] を使用して、コントローラの IP アドレスを表示できるようになりました。

ロケーション情報

[Location Info] タブの [Location Data] ウィンドウでは、非現実的な値を避けるために、位置に指定できる総面積が制限されています。[Total Area] の値を入力すると、平方フィートで 100 ～ 10,000,000 の間、平方メートルで 10 ～ 100,000 の間で許可される面積を示すツールチップが表示されます。

検出と位置特定

Cisco Spaces ダッシュボードで、検出と位置特定アプリが [SEE] ライセンスで使用できるようになりました。以前は、検出と位置特定は [ACT] ライセンスでしか使用できませんでした。しかし、機能は変わりません。

RBAC Map Services

RBAC では、Map Services へのアクセス権を個別に提供するようになったため、マップにアクセスできるユーザーを制限できます。[Map Services] へのアクセスは、以前のように [DNASpaces] の一部として提供されなくなりました。ただし、[MapServices] をロールに割り当てることができるのは [DNASpaces] のみです。たとえば、MapServices への読み取りおよび書き込みアクセスと、DNASpaces への読み取り専用アクセスを持つロールを作成できます。

この拡張機能をサポートするために、新しいオプション [MapServices] が、[APPS] の [Admin Management] > [Roles] > [Create New Role] で使用できるようになりました。ロールを定義するときに [MapService] が割り当てられていない場合、そのロールを持つユーザーには、[Setup] の下に [MapService] オプションが表示されません。



(注) この拡張機能は、新規ユーザーにのみ適用されます。Cisco Spaces の既存のすべてのユーザーは、引き続き [Map Services] に対する完全な権限を持ちます。

Cisco Spaces パートナーダッシュボード

Cisco Spaces パートナーダッシュボードでは、次の機能強化が加えられました。

ご利用条件

Cisco Spaces パートナーダッシュボードの利用規約が変更されました。この更新後の最初のログイン時に、更新された利用規約が表示されるようになりました。ダッシュボードへのアクセスは、利用規約に同意した後にのみ許可されます。

Cisco Spaces ランタイム

Cisco Spaces ランタイムに次の変更が加えられました。

エンタープライズ キャプティブ ポータルの機能強化

Cisco Spaces では、エンタープライズ キャプティブ ポータルに対して次のサポートが提供されるようになりました。

- トリガー API を使用して通知を API エンドポイントに送信するためのサポート。
- キャプティブポータルのユーザにそのアクションに基づいてタグを付けるためのサポート。

不具合

不具合では、Cisco Spaces アプリケーションでの予期しない動作について説明します。「解決済みの不具合」と「未解決の不具合」では、このリリースの不具合を示します。

各不具合について、次の情報が提供されます。

- 識別子：各不具合には、一意の識別子（ID）が割り当てられます。識別子は CSCxxNNNN というパターンで、*x* は任意の文字（a～z）、*N* は任意の数字（0～9）です。これらの ID は、セキュリティアドバイザリ、フィールド通知、その他のシスコのサポートドキュメントなど、シスコのマニュアルでよく使用されます。Technical Assistance Center（TAC）エンジニアまたはその他のシスコのスタッフからも、特定の不具合の ID が提供されます。
- 説明：不具合が発生したときに観察された内容の説明。

ここでは、次の内容について説明します。

シスコバグ検索ツール

シスコバグ検索ツール (BST) は、シスコ製品とソフトウェアの障害と脆弱性の包括的なリストを管理するシスコバグ追跡システムへのゲートウェイです。BSTは、製品とソフトウェアに関する詳細な障害情報を提供します。

未解決のバグ

表 1: 未解決のバグ

CDETS ID 番号	説明
CSCvq83680	RBAC : 特定の場所しかアクセスできない管理ユーザーは、ダッシュボードにログインできない。
CSCvt29202	デフォルトでは、新しく作成されたアカウントの訪問者数と訪問数がデジタル化統計に表示される。
CSCvs79627	Meraki カメラ : ユーザーは非カメラデバイスもインポートできる。
CSCvu46143	すでに承認された招待状を使用しようとする、適切なエラーメッセージが表示される必要がある。
CSCvt93539	訪問数が少ない場合、[Right Now -Visits by floor] セクションで、フロア名がツールチップテキストに表示されない。
CSCvv22691	非アクティブ化されたユーザーをアクティブ化すると、初回では「My Profile」情報が保存されない。

修正されたバグ

表 2: 修正されたバグ

CDETS ID 番号	説明
CSCvs97445	ロケーション階層に誤った「ユーザー数」が表示される。

翻訳について

このドキュメントは、米国シスコ発行ドキュメントの参考和訳です。リンク情報につきましては、日本語版掲載時点で、英語版にアップデートがあり、リンク先のページが移動/変更されている場合がありますことをご了承ください。あくまでも参考和訳となりますので、正式な内容については米国サイトのドキュメントを参照ください。